

群馬菱の実会だより

2000年・年頭にあたって

菱の実会 会長 斎藤慶蔵

皆様明けましておめでとうございます。ご家族ともども素晴らしい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は暗いことが多かった世情の中、会の運営にご理解とご協力をいただき、すくすくと成長を遂げることができました。心よりお礼申し上げます。

今年の活動としては、昨年の継続と新たにパソコン教室の開設であります。今はパソコン時代到来と言われるほど普及し始めており、現役時代には縁の無かった会員から「習いたい」という声が出るようになって来ました。ぜひ実現に向かって努力したいと思います。また、4月から介護保険制度が導入されます。私達の身近な制度でありますので、よく理解して対処できるように、前もって制度の勉強をしておきたいものです。最後になりますが、皆さんの今後のご健勝を祈願するとともに、役員一同運営に努力していくことを誓って新年のご挨拶と致します。 2000年元旦

2000年・新年のあいさつ

MELON 群馬 執行委員長

森田 茂

の新年あけましておめでとうございます。

新ミレニアムをご壮健にてお迎えのことと、お慶び申し上げます。

昨年は尾島町議会議員選挙に際し、多大なご支援を賜わり、厚くお礼申し上げますとともに、群馬菱の実会事務局担当としての『岩松議員』へ、ご指導をお願い致します。さて、私たちを取巻く環境は相変わらず厳しい状況が予想され、取分け「産業の構造改革は道なかば」ではないでしょうか。従って、本年も高い失業率が続くものと思われまますし、商品の価格低下も続き、循環型の景気回復は最早あり得ないと考えられます。加えて社会保障の削減・切捨てとも取れる制度改定が伺えるわけですが、このような中で菱の実会の活動を羨望しながらも、負けじと奮闘いたしております。ところで、ご承知のように少子化・高齢化により労働力の減少が危惧されており、4月から介護制度が始まりますが、お年寄りがお年寄りを介護する状況になりつつあります。皆様には常日頃の活動に加えて大変恐縮ですが、なお一層の会員相互の連携強化と地域毎の組織化を図り、ボランティアによる相互支援など、新たな時代のなかで、より自主的な活動を展開され、さらなる発展をされますよう祈念致すところです。新春早々おこがましい話題となりましたが、本年も皆様の活躍をご期待申し上げ、ご挨拶と致します。

新会員紹介 **池田英彦さん** (平成11年12月15日定年)

鹿児島県国分市上小川774-1 電話 0995-45-4919

平成11年12月15日をもちまして定年退職になり、この度、菱の実会に入会させて頂く事になりました。宜しく、お願い申し上げます。



昭和47年に入社し、渡良瀬寮、大利根寮の管理人一筋に27年間従事して参りました。色々多難な事もありましたが、皆様のお力添え、ご指導を頂きました。二人元気に定年を迎えられた事に深く感謝致しております。入会後は、会を通じ社会のために何らかのお役に立ちたいと思っております、又、自己の健康管理には、充分気をつけて、第二の人生を明るく楽しく過ごして行きたいと決心しております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

第1回 囲碁大会開催

囲碁愛好会が発足してから、ほぼ1年が経過し、会員も少しずつ、増加して来ました。年末を控え、頭記大会を実施しましたので、下記の通りご報告致します。今後はもう少し大会の数を増やすよう要望があり、より活発にするよう図りたいと思います。

日時：12月13日 場所：睦荘 参加者：10名

成績 優勝：小川 実、 準優勝：本木 博史、 3位：白井 敬郎、祖父江 常雄

参加者全員による
記念撮影



会長からトロフィーを受ける小川 実さん

会員投稿 『退職前後から「毎日が日曜日」の5年間』 その2

太田市 町原 義太郎

生きがいを求めてというほど大袈裟ではないが、趣味を広げるため、通信教育でいろいろのものに挑戦した。まず最初に…

折り紙 動機の一つは孫に教えてやろうということ。やってみるとなかなか奥深いものがある。折り方が図解入りで説明されているが、簡単なものでもああでもない、こうでもないと苦勞した。考え出した先人の知恵、あるいは今でも創作に励んでおられる先生たちの頭の構造はどうなっているのだろうと、驚嘆することしきり。ついで…

鎌倉彫 NHK学園の通信教育の資料を送ってもらい、よさそうだと思って受講することにした。今は、ヒマができると（ヒマを見つけて）楽しんでいる。

鎌倉彫とは…平安時代後期、各地に阿弥陀堂が建てられた（平等院鳳凰堂・中尊寺金色堂など）。その堂内の天井や壁、仏像を安置する須弥壇などには、宝相華唐草などの華麗な装飾が施されているのが特徴で、これらの彫刻が鎌倉彫の源流の一つ。〔注：宝相華（極楽浄土に咲くと言う架空の花）、唐草（植物のつるのように切れ目なく連続している文様の総称）〕その後、鎌倉が日本の政治の中心になったとき、鎌倉に大きな禅寺がつつぎに建てられた（覚園寺・建長寺・円覚寺など）。それらの要所に施された装飾は、宝相華唐草にかわって獅子や牡丹が多く使われている。室町時代に入り中国（元の末期から明の始め頃）との交流が盛んになり、俱利とよばれる彫漆工芸品などもたくさん渡来し〔注：俱利（グリグリと回転する感じの連続模様）、彫漆（漆を数十回塗り重ねて厚い層を作りそれに彫刻するもの）〕当時の仏師たちに強い刺激を与えた。良質の木材に恵まれた我が国では、時間の掛かる彫漆のかわりに木地に彫刻してそのうえに漆を塗り彫漆と同じ効果を上げることを考えた。安土・桃山時代になるとしだいに中国の彫漆の影響を抜け出し、その頃から鎌倉彫という呼び方が定着したようである。

鎌倉彫の木地は、昔はヒノキ、カエデ、ウメなど緻密で堅い木が用いられていたが、明治ごろからイチヨウが多く使われるようになった。イチヨウは木質に粘りもあって狂いが少なくよい材料なのだから近年は入手が難しくなり、今は北海道のカツラが使われている。

彫刻刀は種類を大別すると、小刀、平刀、丸刀の3種類だが、それぞれの大小に変形のものまで含めるとたくさんの種類になる（今、わたしの使っているのは9種類）。何と言っても切れ味が決め手なので研ぎが大切。

塗りは、本来は漆塗りということになっているが、技術的にも難しく大変なので今はやっていない（先生に預けて塗ってもらうこともできるが塗り代も高い）。代わりに柿渋を使った塗りをやっている。これも塗ってから時間が経つと実に渋いい色になってくる。今はこれで満足している。

さて、実際の彫りだが、線彫り というのが鎌倉彫の基本で断面がV字型になる線を小刀で彫ることをいい、送り刀（刀の背を左手の親指で送って行く彫り方）と引き刀（刀を手前に引くようにして彫る刀法）とあり、慣れてくるとクルクルと螺旋状に木屑が出てくる。これは楽しいものだが、最初はどううまくできず、放り投げようかと思ったこともあった。手の動き・力加減など微妙なものがあるのだろうが、やはり繰り返し繰り返し

やること、慣れるというのが上達、そして楽しみの基本だろう。

前述したようにヒマがあると彫っているが、今はできあがっている図案を図つけし彫っているのがほとんどで、課題は自分で作図したものを彫ること、つまり自分のオリジナル作品を作りたいということである(オリジナル作品も何個かは彫っているが)。それにはデッサン力、図案化力、こういったものを身につける必要がある。と思っている。

(来月号につづく)

◆ おしらせ ◆

1. 1月の囲碁愛好会

◎例会 : 1月17日(月) 9:30~ ◎会場 : 体育館 余暇開発室

◎初心者講習会 : 1月12日(水) 9:30~ ◎会場 : 体育館 余暇開発室

2. 1月グラウンドゴルフ月例会

◎日時 : 1月24日(月) 9:30~ ◎会場 : 利根グラウンドゴルフ場

3. 2月のカラオケ月例会

◎日時 : 2月7日(月) 17:00~ ◎会場 : 睦荘 YOU遊ホール

◎申込 : 愛好会役員(斉藤慶蔵さん : Tel 0276-52-1846)まで

4. 次回の幹事会・編集委員会(会場 : 組合会議室)

◎編集委員会 1月24日(月) 11:30~

◎幹事会 2月 7日(月) 16:00~

1/25.26
9:00

編集後記 ◎会員の皆様、あけましておめでとうございます。20世紀最後の年、西暦2000年という節目の年を迎えました。21世紀に向けますます、ご健勝でありますよう、ご祈念申し上げます。

◎景気も気候も不順です、お互いに健康に留意し、元気で今年を乗り切り、21世紀が迎えられるよう頑張りましょう。

◎昨年は無残な殺人事件、リストラなど暗いニュースが飛び交いましたが、今年は明るい世の中になってほしいものです。

◎コンピューター関係のY2K(2000年問題)も無難に過ぎ、安堵いたしました。

◎群馬菱の実会が益々発展できるよう、幹事一同頑張りますので、皆様の一層のご協力をお願い申し上げます。(増田 記)

発行

発行責任者 斉藤 慶蔵

三菱電機労働組合群馬支部

2000-1-11 No.81

編集「菱の実会だより」編集委員会

Tel 0276-52-3874